

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビー神戸三宮教室			
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日 ～ 2025年 8月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	44
○従業者評価実施期間	2025年 7月 20日 ～ 2025年 7月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新時に必ず計画書を提示し、保護者さまと共有している。</li> <li>・保護者さまのニーズを丁寧に聞き取り、反映した支援計画を作成している。</li> <li>・専門用語を避け、分かりやすい言葉で具体的に記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者さまの希望や指導員の視点を反映し、充実した支援計画を作成していく。</li> <li>・保護者さまが話しやすい環境を整え、隠れたニーズを引き出しながらお子さまに合った計画書につなげていく。</li> <li>・職員間で相談/協議を重ね、より適切で効果的な支援を提供していく。</li> </ul>
2	支援計画に沿った支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談や支援共有シートを通じて、保護者さま/職員間で支援内容をすり合わせている。</li> <li>・個別支援計画を読み込み、日々の情報共有を徹底し、お子さまに合った支援を心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての利用者や久しぶりの利用者の支援対応時は、よく関わっている職員から様子を聞くことを徹底していく。</li> <li>・研修や参考資料から情報を収集し、支援の工夫を取り入れながら支援の幅を広げていく。又、指導員間で情報共有を行い、支援内容にバラつきが出ないようにしていく。</li> <li>・対応が難しいケースについては、ハビーの専門職から意見をもらい、より良い支援につなげていく。</li> </ul>
3	お子様が安心感をもって通所できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褒めることを意識し、お子さまの小さな変化やサインに気づきながら信頼関係を築いている。</li> <li>・出迎えや見送りを丁寧にし、笑顔で通所/帰宅できる環境を整えている。</li> <li>・苦手な教材や関わり方を共有し、お子さまに合った支援を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリハリのある支援と、指導員の得意分野を活かした配置により、より質の高い支援を目指す。</li> <li>・保護者さまとの良好なコミュニケーションや関係機関との連携を通じ、お子さまの安心につながる信頼関係を築いていく。</li> <li>・職員間で情報共有を行い、お子さまの特性に応じた支援を継続していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催や利用者様のごきょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者交流会への参加希望が少なく、参加率が低い。</li> <li>・固定枠以外での来所が難しく、年齢の小さい兄弟との交流が困難である。</li> <li>・保護者間の交流を希望する方が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加希望の多い日に保護者会やイベントを開催し、参加しやすい環境を整えていく。</li> <li>・利用者さまのニーズを把握し、希望に応じて交流の機会を設けていく。</li> </ul>
2	保育所や幼稚園等との交流や地域で他のお子様と活動する機会がない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部（保育所・幼稚園）との関わりが情報交換中心で、地域や他のお子さまとの交流機会がほとんどない。</li> <li>・利用者さまや保護者さまの希望、園側の都合により、交流が難しい場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者さまの意向を確認し、希望があれば地域との連携を図っていく。</li> <li>・神戸市内の“親の会”と連絡を取り、今後実施可能な内容について模索していく。</li> </ul>
3	活動概要や自己評価の結果をこどもや保護者様に対して発信しているが、認知に至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板やモニタールームの情報が多く、保護者さまに必要な情報が届きにくい。</li> <li>・ブログやSNSの発信方法が統一されておらず、保護者さまが見ない場合がある。</li> <li>・保護者さまの関心を引く発信が十分にできておらず、自己評価の結果も認知されにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示板や「ハビーだより」、連絡アプリ（コノベル）を活用し、定期的に保護者さまへ活動概要や行事予定などの情報を提供していく。</li> <li>・ポップなどで掲示を工夫し、ブログやアプリ更新時には声掛けを行い、見てもらいやすくしていく。</li> </ul>